

オフトーク6月いっばいで廃止に

4月13日に行われた村議会全員協議会で、オフトーク通信の廃止が決定されました。

オフトーク通信は6月30日いっばいで事業をとりやめ、7月1日からは代替媒体に切り替わります。

代替媒体は、電話を利用した「テレドーム」というテレフォンサービスです。「0180-992-XXXX」の10ケタの電話番号に電話すると、情報を得ることができます。火災時にサイレンを聞いたら、その番号に電話すると、村内での

火災の情報を得ることができます。これは、約1,000人が一度に電話をかけても通話が可能です。

オフトーク通信の廃止については、昨年のアンケート結果をもとに、今年3月のオフトーク通信運営協議会や4月の消防分団長会議、消防委員会、区長会議などで協議し、今回の決定となりました。

今後、オフトーク通信の宅内装置の処分方法や、テレドームの10ケタの番号や使用方法については、広報6月号で詳しくお知らせします。



老朽化が激しい役場のセンター装置

消防団が機敏な動作で訓練を実施

昭和村消防団（倉澤憲治団長・300人）による春の教養訓練が4月11日に村総合運動公園多目的グラウンドで行われました。

晴天のもと、団員たちはこの日午前9時に集合。全団員集合のもと、加藤村長の訓練開始宣言により、さっそく訓練に入りました。

午前中は、機械器具の点検や部隊訓練など、利根沼田広域中央消防署の職員の指導のもと、団員たちはきびきびとした行動で訓練を実施。

午後はポンプ操法と分列行進に取り組み、団員たちは丸一日入念にチェックしていました。

また、今年の新入団員39人は敬礼や行進などの基本動作を、同署職員の指導を受けながらそれぞれ積極的に練習していました。

また訓練に先立ち、15年度無火災分団表彰が行われました。

15年度無火災分団：第2分団、第3分団、第4分団、第5分団、第6分団、第8分団、第10分団。



敬礼の練習をする新入団員

結婚の記念に

サクラ110本を植樹

結婚記念植樹が4月11日、沼田森林管理署内の敷地（追分）で行われました。植樹を行ったのは、15年1月から16年3月までに婚姻した11組の夫妻です。

参加した夫妻は、2組で1本ずつサクラの木を植樹。5本の木がしっかりと植え付けられました。

また議会議員や関係者らが、105本のサクラを植え付けました。

この事業は「やさしい村づくり」の一環として一昨年度から行われています。



よいしょ、よいしょ

中国吉林省から118人の研修生来村



「どうぞよろしくお願いします」

昭和村国際農業交流協議会（角田昌義会長）による「海外農業研修生歓迎会」が4月1日、赤城林間学園で行われました。出席したのは、中国吉林省からの研修生とその受入農家ら195人。角田会長は「これからの8か月間、私たち受入農家を自分の本当の親と同じように思っ、分からないことがあったら聞いてください。皆さん、仕事に頑張ってください」と歓迎の言葉。また受入農家に対しては「研修生たちには自分の息子・娘と思って対応してください」と述べました。

この後研修生と受入農家とでにこやかに自己紹介。研修生代表は「不安もありましたが今日を迎えられて安心しました。長い研修期間ですが、日本の技術を身につけ、今後の中日発展のためにいかしていきたいと思えます。皆さん、どうぞ宜しくお願いします」とあいさつを述べました。今年度の研修生は118人。野菜部門は11月まで、畜産部門が来年の3月まで、それぞれ研修を行います。

よい歯の子と家族36組を表彰

「第11回よい歯の子と育てた家族の表彰式」が3月27日、村公民館で行われました。

出席したのは、受賞者とその関係者らおよそ90人。

今回受賞したのは、15年度の3歳児健診で虫歯のなかった子とその家族36組です。

式では、受賞した子どもたちの名前がそれぞれ呼ばれ、壇上で代表者に表彰状が手渡されました。

受賞した子どもたちを紹介します（敬

称略）。

受賞者：藤井菜々美、諸田真子、竹内美樹、星野佑斗、唐澤慶太、矢嶋武尊、竹之内みなみ、鈴木鉄平、澤口侑奈、真下美月、稲垣綾乃、大島涼菜、長谷川理子、青木優奈、真下慧大、真下理杏、関上幸輝、萩原健斗、鈴木渚、林颯汰、斉藤瑠那、篠田叶多、金子茂樹、澤田竜輔、新木芙美奈、萩原萌黄、倉澤美羽、津久井莉沙、山口玲央、勝見梓、蜂須賀光、茂野春香、角田竜斗、高山妃苗、小池瑠里佳、林吏希人。



受賞を記念してパチリ

家族経営協定に

14組が調印する

家族経営協定調印式が3月29日、村役場会議室で行われました。

この協定は農家が各家族内で労働報酬や労働時間などの取り決めを行い、快適な経営や生活を行うことが目的。

今回は、議会議員や農業委員らの立ち会いのもと、14組46人が調印に臨みました。

調印締結後は、宮貝戸の星野昌司さんが代表して謝辞。調印の決意と今後の経営についての抱負を述べました。



厳しゆくに行われた式典